

名取裕子みちのく巡礼話芸劇場Ⅲ

艶子姐さん

釜石最後の芸者物語

大震災の津波で

持ち物は全部流されましたが

私の芸は流されませんでした！

亡くなる八十九歳のその時まで

釜石最後の芸者として

波瀾万丈の生涯を生きた伊藤艶子

その芸は八王子芸者に引き継がれ

今も唄われ踊られている



在りし日の艶子姐さん



2023年

10月29日

13:30開場 14:00開演 (15:45終演予定)

釜石市民ホールTETTO ホールA

【入場料】全席指定

一般: 3,000円(当日:3,500円)

高校生以下: 1,500円(当日:2,000円) ※未就学児入場不可

【チケット割引】釜石市民ホールのみで取扱い

各20%割引/TETTO友の会、シルバー(65歳以上)、まとめ買い(10枚以上)

【プレイガイド】

釜石市民ホール、イオンスーパーセンター釜石店、シーサイドタウンマスト、サン・リア、リアスホール

【問合せ】釜石市民ホール(指定管理者 釜石まちづくり株式会社)

〒026-0024 岩手県釜石市大町1-1-9 | TEL0193-22-2266 | <https://tetto-kamaishi.jp/>

【ご来場される皆様へご協力お願い】○発熱や体調不良時には来館や来場をお控えください。○施設内でのマスク着用は個人の判断となります。混雑時や継続的な発声を伴う公演等、必要に応じて着用してください。○施設内での咳エチケットや手洗いの励行を推奨します。

艶子姐さん～釜石最後の芸者物語～

青山学院大学在学中、TBSの朝のテレビ小説「おゆき」のヒロイン役でデビュー。その後「3年B組金八先生」(TBS)やNHK大河ドラマ「黄金の日々」などのドラマに出演。1982年、松本清張原作のNHKドラマ「けものみち」での悪女役で新境地を開く。さらに映画では「序の舞」「時代屋の女房2」「吉原炎上」「妖女の時代」をはじめ、数々の話題作に出演。「異人たちとの夏」「マークスの山」では日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。また「KOYA」では日本映画批評家大賞の奨励賞を受賞。1988年には蜷川幸雄演出「タンゴ・冬の終わりに」で初舞台を踏んだ後、「七人みさき」「にぎり江」などの蜷川作品や、新橋演舞場では「女系家族」「御宿かわせみ」「吉原炎上」「花の天勝」と4年連続で出演。華やかな容姿と確かな演技力で舞台女優としても注目を浴びる。「法医学教室の事件ファイル」(テレビ朝日系でこれまでに47作を放送)「京都地検の女」(テレビ朝日系)や「マルホの女」「特命刑事カクホの女」(テレビ東京系)などの人気シリーズに主演し、好評を博しているほか、「さくらの親子丼」「10の秘密」(フジテレビ系)と多くのドラマに出演している。現在「オールナイトニッポンMUSIC10」(毎月第1・第3水曜日)のラジオパーソナリティを務めている。また、「今夜はナゾトレ」(フジテレビ系)、「Qさま!!」(テレビ朝日系)などのクイズバラエティにも出演。

2015年より「みちのく巡礼話芸劇場」シリーズに取り組み、第1作として同年10月(松尾芭蕉～おくのほそ道)(岩手県西和賀町銀河ホール)公演。2019年8月第2弾(長部日出雄作・津軽世去れ節)(秋田県鹿角市文化の杜交流館コモッセ)公演。2020年11月(津軽世去れ節)岩手県釜石市民ホールTETTO公演。2021年11月(続津軽世去れ節)秋田県鹿角市文化の杜交流館コモッセ公演。今回の「艶子姐さん～釜石最後の芸者物語」は、みちのく巡礼話芸劇場シリーズ第3弾となる公演。朗読としてのジャンルを超えたクロスオーバー・エンターテインメント舞台シリーズとして注目されている。



【朗読】名取 裕子
Yuko Natori



いとうつやこ
伊藤 艶子さん

「釜石最後の芸者」であり日本舞踊家「藤間千雅乃」さん。
1926年(大正15年)釜石生まれ。度重なる地震・大津波や戦災を乗り越え、89歳の生涯を釜石とともにあり、水産と製鉄で繁栄した釜石に粋な彩を添えた。
東日本大震災では避難所に暮らし、釜石最後の芸者として国内外に発信され注目を浴びた。震災後のお座敷で「私の芸は津波に流されない!」と口上を述べて「釜石浜唄」を披露した。
2016年1月逝去89歳。

置屋「ゆき乃恵」女将めぐみ

八王子生まれ
昭和62年 八王子芸妓として籍を置く
平成13年 置屋「ゆき乃恵」を開業
[小唄]春日流 師範 [端唄]藤本流 師範
[長唄]杵屋 名取り [舞踊]藤間流 名取り
[囃子]福原流 名取り [茶道]裏千家 茶名取得



若葉



成華



ふく弥



てる葉



芸妓衆

【民謡】佐野 よりこ

岩手県釜石市鶏住居町出身。司会者、ラジオ番組パーソナリティ、民謡歌手。3歳の頃から民謡を習う。南部牛追い唄・外山節・沢内甚句など、岩手県内で開催される数々の全国大会で優勝。第49代岩手県知事杯争奪民謡王座に輝く。平成28年第56回日本郷土民謡民舞全国大会で優勝、内閣総理大臣賞受賞。2013年英国ロンドンで開催された東日本大震災復興祈願チャリティーコンサートに出演、ロンドン在住の音楽家廣田丈自氏と名門ロンドンメトロポリタンオーケストラと共演。現在 エフエム岩手で自身の冠番組「よりこのうたラジ」「北Gのサンデーモーニング」を担当。大震災を機に、民謡で故郷を元気にする「佐野よりこ民謡プロジェクト」を立ち上げ活動中。2020年初の民謡集「天までとどけ」(日本コロムビア)リリース。釜石観光物産大使。平成29年度釜石市市政功労賞奨励賞受賞。



唄・演奏

【尺八、横笛、三味線奏者】村松 幸一

三味線を照井真実都、尺八を岩井利信に師事。もともと、三味線プレイヤーであったが、三味線奏者は沢山居るが、尺八奏者には若い人がほとんど居ない事に気が付き、このままでは、この先尺八奏者がいなくなってしまう事を案じ、尺八を始める。現在は、各種大会やレコーディングの伴奏やステージなどで、三味線プレイヤーと尺八プレイヤーの2つの顔で活動中。

